

SMR 新規導入国主導 FIRST プロジェクト成果報告会

【経緯 / 目的】

経済産業省は、米 국무省が主導する Foundational Infrastructure for Responsible Use of Small Modular Reactor (SMR) Technology (FIRST) プログラムを支援している。FIRST プログラム は、原子力産業と技術革新の力を活用し、原子力エネルギー分野への新規参入を目指す国・関係者を安全性、セキュリティ、核不拡散性の最高水準の下で積極的に取り込みながら、世界のエネルギー安全保障の向上を推進している。この FIRST プログラムの一環として、米 국무省開催の 4 ヶ国を対象とする SMR 関連プロジェクトの成果報告会の実施に協力するものである。

【実施内容】

ウィーンにおいて 2025 年 11 月中旬に開催された報告会では、社会的合意形成、規制体制、SMR 技術及び教育に関する 22 件のプロジェクトの成果が報告された。海外産業人材育成協会 (AOTS) からの依頼を受け、JICC はこれらプロジェクト成果の評価を行っての開催に協力した。経済産業省の担当官からは「日本の原子力エネルギーの現状」についての講演が行われた。

【成果】

プロジェクトの成果評価によって、安全性、セキュリティ、核不拡散性の最高水準を備えた SMR への当該 4 ヶ国の理解が更に深まった。各国の原子力専門家、政策立案者も参加しており、JICC はこれらの方々と、原子力協力をすすめる上で重要な関係を深めることができた。また、この FIRST プログラムでの協力を通して JICC と米 국무省とのパートナーシップが強化された。



経済産業省 原政課担当官による日本側代表開会挨拶



JICC メンバーによる SMR セッション司会及び Project 報告評価



最終日の全体写真